令和3年9月1日

保護者の皆様

コロンボ日本人学校
校長　大　森　　伸

令和3年度　第1回　学校評価アンケート結果について

保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、7月に実施しました今年度第1回目の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様からのご意見と教職員が行った学校評価結果から学校の課題を見つけ、その対応策等について検討させていただきました。

下記は、アンケート結果と今後の学校運営の改善策等を掲載いたしましたので、ご一読いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

4：よくあてはまる　3：ほぼあてはまる　2：あまりあてはまらない　1：全くあてはまらない　？：よくわからない

※平均が3未満については赤字にしています。

№	評　価　内　容	評　価					平　均	
		4	3	2	1	?	保護者	教　師
1	お子さんは誰にでも元気にあいさつしている。	3	0	1	0	0	3.50	3.20
2	お子さんは人に言われなくても自分から行動できるようになった。	1	1	2	0	0	2.75	2.80
3	お子さんは学習だけでなく、何にでも一生懸命取り組んでいる。	2	1	1	0	0	3.25	2.60
4	教職員は児童生徒の模範となるように何事にも率先垂範して行動している。	2	0	1	0	0	3.33	3.00
5	学校は、教育目標や経営方針をわかりやすく伝えている。	2	0	1	0	0	3.33	3.60
6	学校は、ホームページや各種たより等で、子供たちの様子や学校の教育活動を伝えている。	3	0	0	0	0	4.00	4.00
7	学校は保護者アンケート等の結果を受け、迅速に対応している。	1	0	0	0	2	4.00	3.25
8	学校は、学習に適した教室環境、施設設備の整備。充実に努めている。	2	0	1	0	0	3.33	3.00
9	学校は、事故防止・感染予防対策等、子供たちの安全確保に十分努めている。	3	0	0	0	0	4.00	3.80
10	お子さんは学校生活を楽しいと感じている(言っている)。	2	2	0	0	0	3.50	3.20
11	学校は、個に応じた指導を行い、基礎基本の定着に努めている。	2	2	0	0	0	3.50	3.40
12	学校は、休校時のオンライン授業や基本的生活習慣の保持等、迅速かつ丁寧に対応している。	2	2	0	0	0	3.50	3.60
13	お子さんは授業がわかりやすいと感じている(言っている)。	2	2	0	0	0	3.50	3.50
14	学校は、自分の思いを伝える力(表現力)や自ら学ぼうとする力の育成に努めている。	2	0	1	0	0	3.33	3.00
15	学校は、英語力を高める教育の充実に努めている。	2	1	0	0	0	3.67	3.25
16	学校は、日本文化の継承や異文化理解の教育を行う等、国際理解教育の充実に努めている。	1	0	0	1	1	2.50	2.80
17	学校は、日頃から子供たちに目を配り、いじめやその他の問題に迅速かつ丁寧に対応している。	1	0	0	0	3	4.00	3.50
18	学校は、教育相談やアンケートを通して、子供たちの悩みを把握し、適切に対応している。	1	0	0	0	3	4.00	3.50
19	学校は、保護者と連携を図り、子供たちの指導に生かしている。	3	0	0	0	0	4.00	3.40
20	昨年度からオンラインによる学校の連絡等を行っているが、プリントによる連絡等と比べて、利用しやすくなった。	2	0	1	0	0	3.33	3.40

《課題の考察と改善策》

【評価が3未満の項目について】

(項目2、3について)

〇1学期は、新型コロナ感染者の急増によるロックダウンのため、学校での活動が予定の3分の1しかなかったこともあり、学校での指導が十分できなかったことと子供たち自身が長期間家庭での生活の中で自分をコントールするのが難しかったのではないかと考えています。2学期から通常登校が開始されれば、教師の指導と集団生活の中で子供たち同士が切磋琢磨して成長してくれると思います。

(項目16について)

〇1学期は、新型コロナ禍の影響もあり、計画していた現地校との交流、キャンディアンダンス等、全く実施できなかったため、この項目は評価が低くて当然だと考えています。新型コロナの感染状況にもよりますが、2学期は現地校との交流、キャンディアンダンスの他、IA授業、オンラインによる日本国内及び他国の在外教育施設との交流を計画しています。この取組により、国際理解教育だけでなく、子供たちの表現力の育成を図っていきたいと思います。

【自由記述にたいする回答】

○いつもお世話になっております。オンラインへ移行し、日々子供の授業を目にするようになりました。先程学校だよりを拝見し、おもわず手助けしてしまう親のことを言及しており、はっと自分をかえり見てしまいました。
アンケートについて、よくわからないと回答させていただいた箇所は、まだ通い始めたばかりで実際体感していないなどの箇所についてそう回答させていただきました。
息子は、勉強についてマンツーマンで指導してくださるので、とてもわかりやすいと言っております。また、引っ込み思案でありながらも、合同授業も少人数のため自分の意見を述べやすいとも申しておりました。とてもリラックスして授業を受けることができていると思います。いつもありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

A:本校の教育活動に対しまして、ご理解と心温まるお言葉をいただきありがとうございます。今後も子供たちの学びを保障していくとともに主体的に学ぶ子供たちを育てていくよう努めていきたいと思います。

○将来やりたいこと（進路）や将来の夢を考えるきっかけになるような授業があったらよいなと感じています。特に先輩や大人になって活躍している方の話を聞く機会が欲しいです。

A:1学期は前述のようにオンライン授業のため、かなり制限された中で学習を進めてきました。2学期は特にIAの授業で外部の人材を招聘する場面もあります。また、社会見学で日本企業等のご協力をいただき、職場見学等を予定し、キャリア教育にも対応していきます。

○何でも自分で感じて選択することが大切だと感じています。例えば、何か嫌な気持ちになって授業に参加したくないとき、無理やり大人が促して授業に戻ることはさせたくありません。なぜ自分がその気持ちになったのか、その場で考えて、その自分の気持ちはどうしらたいいのか、立ち止まって考えることが重要だと思います。

A:子供たちには、いつも『3つの柱』を意識してほしいと話しています。その一つが「感じて行動」で、学校でも重点としているところです。ただ、子供の成長段階に合わせて、教師が指導して活動させる場面、教師が助言して子供たちに考えさせて活動させる場面、初めから自分たちで考え主体的に活動させる場面等、ケースバイケースで対応しています。集団行動のルールも身についていない中で、子供たち自身に考えさせて行動させるのはただの放任です。教育というのは子供たちが悩んでいるときにきちんと様子を見ながら適宜助言をすることで、これは見守りになります。また、集団生活の中で他人に迷惑をかける行動については、厳しく指導することもあります。このようにして子供たちに社会のルールを学ばせ自律する力が身につくように我々教師は子供たちの教育にあたっていることをご理解ください。